

令和3年度使用 中学校の教科書について
採択結果及び調査研究・審議の概要

福岡市教育委員会

1 採択結果

		発行者名	書名	使用学年
国語	国語	株式会社 三省堂	現代の国語 1, 2, 3	1～3年
	書写	光村図書出版 株式会社	中学書写一・二・三年	1～3年
社会	地理	株式会社 帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1～2年
	歴史	東京書籍 株式会社	新しい社会 歴史	1～3年
	公民	東京書籍 株式会社	新しい社会 公民	3年
	地図	株式会社 帝国書院	中学校社会科地図	1～3年
数学		株式会社 新興出版社 啓林館	未来へひろがる数学 1, 2, 3	1～3年
理科		大日本図書 株式会社	理科の世界 1, 2, 3	1～3年
音楽	一般	株式会社 教育芸術社	中学生の音楽 1, 2・3年上, 2・3年下	1～3年
	器楽合奏	株式会社 教育芸術社	中学生の器楽	1～3年
美術		日本文教出版 株式会社	美術 1, 美術 2・3上, 美術 2・3下	1～3年
保健体育		株式会社 学研教育みらい	中学保健体育	1～3年
技術・家庭	技術	開隆堂出版 株式会社	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	1～3年
	家庭	開隆堂出版 株式会社	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生	1～3年
英語		光村図書出版 株式会社	Here We Go! ENGLISH COURSE 1, 2, 3	1～3年
道徳		光村図書出版 株式会社	中学道徳 1, 2, 3 きみが いちばん ひかるとき	1～3年

2 採択までの調査研究・審議の概要

福岡市調査研究委員会（以下「調査研究委員会」）において調査研究を行い、報告書を教育委員会に答申した。教育委員会では、答申及び学校長・市民の意見を踏まえて審議し、文部科学大臣の検定を経た教科書から、福岡市の子ども達に最もふさわしいものを選定し採択した。

(1) 調査研究委員会における調査研究の概要

①委員について

学識経験者5名，PTA役員6名，校長会会長4名，主任指導主事等5名，教育委員会部長級職員1名 計21名で構成

②開催状況 【公開で実施（第4回を除く）】

	開催日・会場	内容
第1回	令和2年6月18日（木） 13時30分～16時 福岡市教育センター	・調査研究委員の委嘱 ・調査研究の諮問 ・教科用図書採択方針及び調査研究の進め方について説明，質疑
第2回	令和2年6月23日（火） 9時30分～12時 福岡市教育センター	中学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに審議
第3回	令和2年6月26日（金） 9時30分～12時 福岡市教育センター	中学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに審議
第4回	令和2年6月30日（火） 9時30分～12時 福岡市教育センター	特別支援学級及び特別支援学校使用教科用図書 ・基礎資料の説明 ・基礎資料をもとに調査及び審議
第5回	令和2年7月6日（月） 9時30分～12時 福岡市教育センター	・審議のまとめ ・調査報告の答申

(2) 教育委員会会議における審議の概要

①審議状況 【公開で実施】

開催日	内容
令和2年7月27日(月)	・調査研究委員会の報告書, 学校・市民意見等の説明 ・審議の進め方の確認
令和2年8月5日(水)	・調査研究委員会の報告書等を踏まえ審議
令和2年8月19日(水)	・調査研究委員会の報告書等を踏まえ審議
令和2年8月26日(水)	・審議のまとめ ・投票により教科書を選定, 採択

※教科書見本の展示会は次のとおり開催。学校・市民の意見はすべて教育委員会会議に提出。

- ・学校展示会(学校対象の展示会) 中学校: 令和2年5月15日～6月5日 市内6会場
- ・法定展示会(一般対象の展示会) : 令和2年6月12日～7月1日 市内2会場

3 採択理由

- 採択された教科書については, 福岡市教育委員会が策定した「令和2年度使用教科用図書採択方針」にある「各教科共通の観点」及び「教科の観点」の内容において, 満足できるものとなっている。具体的には次に示すとおりである。

種目	採択の理由
国語	<各教科共通の観点について> ・日常生活や社会生活につながる様々な言語活動が取り上げられており, 問題解決的な学習教材が充実している。また, 「領域別教材一覧」に育成をねらう力や学習活動の系統性が明確に示されているため, 学習の意義を意識して進めることができ, 主体的・対話的な学習につながるよう配慮されている。 <国語の観点について> ・学習活動ごとに学習の流れや目標, 振り返りが示してあるとともに, 「読み方を学ぼう」「思考の方法」などの資料が掲載されており, 学び方や「考えの形成」を重視した構成となっている。読書教

	<p>材や図書の紹介も豊富で、生徒の読書意欲を高め、考えを広げたり深めたりするための工夫がされている。</p>
書写	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「学習の進め方」で学習の段階が示されており、学習の流れを確認して学ぶことができる。毛筆手本や資料の掲載数が多く、QRコードで画像や動画を視聴することもできるため、主体的な学びを促し、日常生活でも活用することができる。 <p><書写の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学習した点画の特徴等を、「生かそう」という項目において、硬筆で確認することができる。さらに、本体から取り外すことができる「書写ブック」により、硬筆の学習が充実するよう配慮されている。
社会 地理	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・節の学習を振り返る内容が教科の目標に結びつくものとなっている。また、一時間の授業で想定される「生徒につけさせたい力」が、何を説明させたいかという形で示され、特に、章末のまとめに学びの振り返りが位置付けられ、社会科の見方や考え方を活用する思考ツールなどが紹介されている。 <p><社会（地理）の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の多面性や多角的な見方を促す課題設定や内容記載が見られる。これによって生徒が多様な考えをもち、対話的な学習を展開しやすい構成になっている。その過程で選択・判断が求められ、その根拠を説明する場面を設けることができる。
社会 歴史	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸問題を理解しながら課題解決に向かう学習内容が充実している。各単元の学習内容に応じて、必要なことを読み取るための史料、写真、地図、統計資料等は適切に配置されている。 <p><社会（歴史）の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問い」を軸に授業が進められるように工夫されている。単元を貫く問いを「学習課題」として単元全体で設定し、章ごとに課題解決の補助的な問い、1時間授業ごとには「学習課題」が設定されている。生徒が「見方・考え方」を用いて課題解決に導くことができる内容になっている。特に、まとめの活動では、様々な思考ツールを活用しており、史資料を根拠に意見交換ができる内容になっている。時代を大観し、大きな転換期となる事象を客観的にとらえ、基礎的・基本的な事象を重点的に学習・考察できる内容になっている。

<p>社会 公民</p>	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の学習は、単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で、問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしている。 <p><社会（公民）の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに、学習の過程に「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるようにしている。また、国際社会における諸課題を、SDG s, あるいは持続可能な社会へ向けての5つの課題から、平和的で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができるように工夫されている。
<p>地図</p>	<p><地図の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の資料図が項目を揃えて作成されている。また、地域的特色についてはさらに資料が添えられている。自然、産業、生活・文化、歴史的背景を大観できるようになっている。また、地図活用の技能を身に付けさせるための問いかけがある。
<p>数学</p>	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設け、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。また、本文中のQRコードにより、授業だけではなく、自宅等においても、復習や予習ができるようになっている。 <p><数学の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末の「学びのあしあと」を設けることにより、生徒が各章の学習内容について自己評価することができるようになっており、基礎的・基本的な知識及び技能等の確実な習得につながる。また、「学びをいかそう」は、数学の有用性を感じながら、既習内容や習得した技能を使って、身の回りの問題を解決できるようになっている。
<p>理科</p>	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を高め、主体的・対話的で深い学びが促されるような工夫がされている。「くらしの中の理科」、「発展」など豊富な資料を読み解く工夫がされており、各単元の探究活動において言語能力や情報活用能力の育成が図られている。特に単元末には「読解力問題」が設定されている。 <p><理科の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 問題提起から実験結果のまとめまでが、資料や写真を示しながら分かりやすく明記されているので、見通しをもって学習を進めることができる。特に、福岡に関する写真の掲載が豊富にあり、生徒はより身近なものとして考えやすくなっている。また、さらに学びを深めるための施設の紹介では、どの学年でも福岡の施設が紹介されているた

	<p>め、地域の施設との連携を図りやすい。「Professional」では、さまざまな職業の話題が紹介されており、将来について考えるきっかけとなっている。</p>
音楽一般	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が実感や親しみをもって学習を進めることができるように、体を動かしながら行う体験活動が取り入れられている。分かりやすく例を示しており、どのような視点で考えたり、話し合ったりすればよいのかが明確になっている。QRコードを用い、興味のある楽曲等により深く触れることができる。 <p><音楽の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統的な歌唱の学習を行うことができるように配慮されている。中学生が郷土の祭りや芸能の担い手として活動している様子が紹介されており、生徒が自分の住む町の文化にも興味・関心をもてるような内容になっている。アジア・世界の国の音楽を教材として取り上げ、他国を尊重する態度を養えるように工夫されている。
音楽器楽合奏	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう工夫されている。曲に対する自分の考えをもち、友達との交流を通して自分の考えをより広げたり深めたりすることができるように配慮されている。発展的で多様なアンサンブル活動に取り組むことができるようになっていく。 <p><音楽の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促される内容になっている。和楽器の学習では、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から適切な教材を選択できる。各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げられている。
美術	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせ、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を重視した題材が充実している。身に付けたい力や造形的な視点が明示されているとともに、対話を通して見方・考え方を広げられるような活動を紹介し、主体的・対話的な学習につながるよう配慮されている。 <p><美術の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 各題材に身に付けたい力や鑑賞の視点となる「造形的な視点」が明示されており、見通しをもって学習できる構成となっている。また、自ら主題を生み出すことができるよう、豊かに発想し構想を練ることにつながる手だてや個に応じた表現ができるような内容を多く掲載する等配慮されている。表現や鑑賞場面とともに学んでいる生き生きとした生徒の様子の写真が効果的に盛り込まれており、「とも学」に導くものとなっている。

<p>保健 体育</p>	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を生かした「自学・とも学」につながる、主体的・対話的で深い学びの実現がしやすい構成となっている。インターネットやデジタル教材で学習を広げたり深めたりできるように「教科書サイト」のアイコンが設定されており、日常にある課題について、主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮されている。また、これから到来する、先端技術の活用による授業にも対応している。 <p><保健体育の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容で、実習のコーナーを設定し、ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が詳細に示されており、実践しやすい内容となっている。学校の授業において行う学習活動を、教師と生徒の関わり合いや生徒同士の関わり合いが特に必要な学習への動機付けや協働学習、学校でしか実施できない実習等に重点化している。
<p>技術</p>	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決学習の流れを重視しており、思考の流れに沿って関連した挿絵や写真、資料が適度に配置されている。挿絵や写真については、大きく、鮮明で分かりやすい。次に体験活動である実験や実習場面において、安全に関する記述が丁寧にされており、緑色の＋マークで記載されている。またさらに QR コンテンツ動画の解説の種類が多く丁寧である。 <p><技術・家庭（技術）の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 各内容において、様々な例を提示しながら、問題の設定 → 課題の設定 → 計画・設計 → 製作・育成 → 評価 → 改善 の一連の流れが示されていて、分かりやすい。さらに PDCA サイクルを用いて解説していることで、生徒が問題解決を順序立てて行うことができる内容となっている。
<p>家庭</p>	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 各内容の終末に生徒の身近な課題を解決する活動が位置付けられ、学習したことを自分の生活とつなげて考えることができるようになっている。また、各内容と関わりのある SDGs が示され、生徒の身近なことから持続可能な社会の構築について考えることができる構成となっている。 <p><技術・家庭（家庭）の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の課題を設定したり、解決したりする際に活用できる図や写真等の資料が多く掲載されている。調理実習例は和食が多く、日

	<p>本各地の郷土料理や行事食も多く紹介されている。また、調理実習の献立例にアレルギー物質 27 品目が一目で分かるように色付けされ、安全に実習が行えるよう配慮されている。</p>
外国語 (英語)	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語材料や内容等は、学年の発達段階を考慮したものになっているとともに、小学校での学びを整理する単元が設けられており、系統的に学習を進めることが期待できる。また、学年ごとの CAN-DO リストや「学び方ガイド」も、生徒自身が、できるようになることを捉え、学びの見通しがもてるよう配慮されている。 <p><外国語（英語）の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間一続きのストーリーの中に発達段階に応じた多様なエピソードがあり、自然な「目的」「場面」「状況」が設定されている。繰り返し触れることで豊富なインプットが得られ、これらを素地に自ら考えて言語活動ができるよう配慮されている。また、巻末に全単元のストーリーのイラストやテーマごとの帯教材があり、年間を通して実践的なコミュニケーション活動ができるよう工夫されている。
道徳	<p><各教科共通の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に配慮した教材の配列になっており、1年間の学びを念頭に学校生活や発達段階を踏まえた学びのテーマを設けている。巻末に学びの過程を時系列で確認できるように、学習した内容を記録する折り込みがあり、生徒が自分の成長を実感できる工夫が見られるとともに、個に応じた指導への配慮がされている。 <p><道徳の観点について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材末の「考えよう」では、主題に迫る問い、「見方を変えて」で別の立場や視点から考える問い、さらに「つなげよう」で各教科や日常生活との関連から考えを広げる問いなどを示し、生徒が多面的・多角的にとらえ、実感をもって深く考えたり、行動につなげたりできるように工夫されている。